

子どもの陸上競技教室の参加意識に関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東, 祐子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/36129

子どもの陸上競技教室の参加意識に関する研究

スポーツ科学課程 97-208 東 祐子

1, 研究の目的

今日、子どもたちのためのスポーツ教室は隆盛を極めている。このように、さまざまなスポーツ教室が開かれているが、特徴の違いから大きく二つに分けられる。例えば、多彩なゲームを取り入れたようなレクリエーション的スポーツ教室と、ある特定のスポーツを行い試合に出場して、結果を問われるといった競技スポーツ教室である。レクリエーション的スポーツ教室の場合、特に遊び場の減少による物理的社会的環境の悪化のために繁栄されたものである。一方、競技スポーツ教室は、ある程度専門とするスポーツ種目を持っており、大会に出場して良い成績を収めたいと願う子どもたちが集まるのである。つまり、根本的な動機が異なることから子どもたちの意識の持ち方は全く異なっている。

レクリエーション的スポーツ教室に関しては、一般的に多く取り上げられている先行研究を元にその現状を知り、競技スポーツ教室に関しては実際に調査を行うことによって、現状を理解していきたい。そこで本研究では、陸上教室に参加した小学生とその親に意識調査を行い、参加動機に関して親と子の両方から比較・検討すると共に、スポーツに対する関心や、親の子どもに対する期待の現状を明確にすることを目的とする。

II, 研究方法

陸上教室の参加者と、その保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果から参加意識に関しての一般的傾向を明らかにしていく。

①調査内容

*保護者に対して(資料1)

- ・子どもが陸上教室に参加したきっかけについて
- ・陸上教室参加における、親から見た子どもの満足度について
- ・親から見た子どもの変化について
- ・陸上教室を通して、子どもに学んでほしいこと
- ・実際に、練習を見学したことがあるかどうか
- ・子どもが出場する大会を見に行くことがあるかどうか
- ・学生時代にスポーツをしていたかどうか
- ・現在もスポーツを続けているかどうか

*子どもに対して(資料2)

- ・学年、性別、兄弟がいるか
- ・陸上教室に参加した動機について
- ・陸上運動で一番好きな種目について
- ・陸上教室は楽しかったかどうか

- ・他にやってみたいスポーツについて
- ・これからも、陸上競技を続けたいかどうか
- ・これからの目標について

②調査対象

本研究では、金沢市小学生陸上教室、松任市小学生陸上教室、小立野小学校陸上教室に参加した四年生から六年生の男女とその親を対象とした。また、アンケートの配布および回収は、郵便調査法で行った。

③標本の大きさ

187票(保護者93名、児童94名) 調査期日は11月10日～11月30日

Ⅲ、結果及び考察

いくつかの調査項目のうち、教室に参加した動機について親と子どもに対して行った意識調査について考察していく。

『子どもさんが陸上教室に参加したきっかけはなんですか』という質問(表1)に対して最も高い回答率であったのは、本人の希望で59.1%であった。このことから、半数以上の子どもたちが自分の意志で陸上教室に参加していると考えられる。

しかしながら、これはあくまでも親から見た子どもの参加動機であることから、必ずしも子どもの意見と一致するわけではない。次に高い回答率を示したのは、親のすすめで28.0%であった。

一方、子どもに対して『陸上教室に参加したのはなぜか』(表2)と質問をしたところ、最も高い回答率を示したのが「友達の誘い」(24.8%)であった。このように答えた子どもたちは、自己の意思ではなく他人からの影響で陸上教室に参加したのだと思われる。また、友達と一緒に楽しくしたいという気持ちから生まれる仲間意識を重視していると考えられ、この教室が多く仲間とふれあうことのできる遊びの場として捉えられているのではないかと考えられる。

子どもに対する調査の結果から、「親のすすめ」の回答率は8.6%であり、この回答に関しては親に対する調査から得られた結果(28.0%)と比較すると誤差があることが確認された。このことから、子どもたちは無理やりに参加させられているという意識はなく、本人の意志によるものが多く積極性がみられ良い傾向にあると思われる。

Ⅳ、まとめ

本研究において、全ての調査結果から得られた結論を挙げてみる。

1、陸上教室における親から見た参加動機と子どもの参加動機について

親から見た子どもの参加動機では、子どもを取り巻いている環境の悪化が子どもの体力・運動能力の低下だけでなく、子どもの人格形成にまで悪影響を及ぼす

ことへの危機意識が起因となって、身体的・社会的・性格的な各々の参加動機への志向が見られた。一方、子どもの参加動機に関しては、80%以上が子どもの意志によるものであった。よって、目的意識がはっきりとしており、親から無理に参加させられたという様子は全く見られなかった。

2, 親の子どもに対する期待の現状

陸上教室に参加するにあたり、親が子どもに学んで欲しいことは「スポーツの楽しさ」と「パーソナリティー面での成長」であった。よって、親は子どもに対し、心身両面での成長を願っていることがわかった。つまり、精神面の成長に関して、親が一方的に子どもに教えつけるのではなく、スポーツを通じて子ども自身が自然に身につけてもらいたいという考えである。

3, 子どもの変化に対する親の気付き

調査結果より、子どもの変化を感じ取ることでできた親は、全体の約80%、わからなかった親が約20%という結果が得られた。つまり、約20%の親は子どもとの交流が少なく、普段の会話などから変化を見抜くことができなかった。親の子どもに対する興味や関心が足りないことが明らかになった。また、この原因として、練習を見学したことのない親が14%であったことから、子どもの変化を視覚的に気付くことは難しいという結論に達した。

4, 子どもの陸上教室に対する意識

子どもの意識調査より、全体的に非常に目的意識が高く、積極的に何かを学ぼうとしている姿勢が感じられた。必ず何らかの目的を持っており、なんとなく参加しているという子どもはほとんど見られなかった。また、今後の目標を調査した結果、多くの子どもたちが高い目標を持っており、陸上競技に対する意識の高さには本人も驚かされた。

5, 陸上教室の重要性

陸上教室に参加して、楽しかったと答えた子どもが96.8%であったことから、陸上教室は子どもたちに良い影響を与えていることが明らかになった。調査対象とした教室は全て、練習内容にゲーム感覚で楽しめるものを取り入れていた結果、運動に対する苦手意識が減り、運動することが好きになったという子どもが多く存在した。また、集団で活動することにより友達との関係や集団活動の重要性を感じ取ることができている。よって、陸上教室は子どもの成長に必要な場であることが明らかになった。

表1 陸上教室の参加動機

Q1 子どもさんが陸上教室に参加したきっかけは何ですか？

N=93 単位:人

本人の希望	55	59.1%
親のすすめ	26	28.0%
その他	12	12.9%
合計	93	100.0%

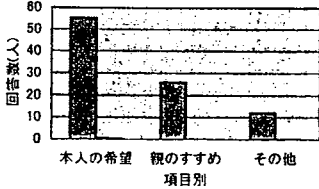


図1-1 親の意識調査

表2-1 陸上教室における子どもの意識調査

Q 陸上教室に参加したのはなぜですか？

N=94 単位:人 (複数回答)

①速く走れるようになったかった	21	20.0%
②友達の話	26	24.8%
③楽しそうだから	19	18.1%
④親のすすめ	9	8.6%
⑤走ることが好きだから	7	6.7%
⑥体育が好きになったかった	7	6.7%
⑦先生にすすめられた	5	4.8%
⑧兄弟の影響	5	4.8%
⑨スポーツをすることが好きだから	3	2.9%
⑩なんとなく	2	1.9%
⑪体力をつけるため	1	1.0%
合計	105	

資料1

保護者の皆様へ

アンケート (どれか1つOで囲んでください) (男・女) (20代・30代・40代・50代)

- [1] 子供さんが陸上教室に参加したきっかけは何ですか。
 - 1. 本人の希望
 - 2. 親のすすめ (理由)
 - 3. その他 ()
- [2] この教室に参加したことを子供さんは喜んでますか。
 - 1. 喜んでいる (理由)
 - 2. 喜んでいない (理由)
 - 3. わからない
- [3] この教室に参加したことで、子供さんに何か変化がありましたか。
 - 1. ある
 - 2. ない
 - 3. わからない
- [4] [3] で1と答えた方は、その変化を簡単に書いてください。 ()
- [5] この教室を通して子供さんに学んでほしいことは何ですか。 ()
- [6] 子供さんが、練習や競技会で良い結果を出せるよう工夫されていることがあれば教えてください。 ()
- [7] 練習を見学されたことがありますか。
 - 1. よくある
 - 2. たまにある
 - 3. 一度もない
- [8] 子供さんが出場する大会を見に行くことがありますか。
 - 1. 必ず行く
 - 2. たまに行く
 - 3. 全く行かない
- [9] 学生時代に何かスポーツをされていましたか。
 - 1. していた (スポーツ名) ()
 - 2. していない
- [10] 現在も、そのスポーツをつづけていますか。
 - 1. つづけている
 - 2. つづけていない

御協力ありがとうございました
 金沢大学教育学部 スポーツ科学課程 東 祐

資料2

児童用

アンケート

- [1] 何年生ですか。学年をかいてください () 年生
- [2] 性別にOをつけてください 1. 男 2. 女
- [3] 兄弟はいますか。
 - 1. いない
 - 2. いる→(兄 人、弟 人、姉 人、妹 人)
- [4] この陸上教室に参加したのは、なぜですか。 ()
- [5] 何年生から、この教室に参加していますか。 () 年生から
 学年をかいてください
- [6] 陸上運動でいちばん得意な(好きな)種目は何ですか。いくつでもOをつけてください
 - 1. 短距離(100M)
 - 2. 長距離
 - 3. 走りはばとび
 - 4. 走り高とび
 - 5. リレー
 - 6. ハードル
 - 7. その他 ()
- [7] 陸上教室は楽しかったですか。 Oをつけてください
 - 1. たのしかった
 - 2. たのしくなかった
- [8] [7] で1と答えた人は、どんなところがたのしかったですか。かいてください。 ()
- [9] [7] で2と答えた人は、どんなところがたのしくなかったですか。 ()
- [9] ほかにやってみたいスポーツは何ですか。いくつでもよいので書いてください。 ()
- [10] 中学生になっても陸上競技をやりたいですか。
 - 1. やりたい
 - 2. やりたくない (なぜ?) ()
- [11] [10] で1と答えた人で、これからの目標があれば書いてください
 例: 県で一番になりたい 全国大会に出たい など ()

ありがとうございました